

事後評価結果(平成28年度)

担当課：都市計画課
担当課長名：谷本 悦久

事業名	都市計画道路 芝生日ノ峰線	事業区分	街路	事業主体	徳島県
起終点	自：小松島市堀川町字井理守	至：小松島市中 田町字新開		延長	0.9km

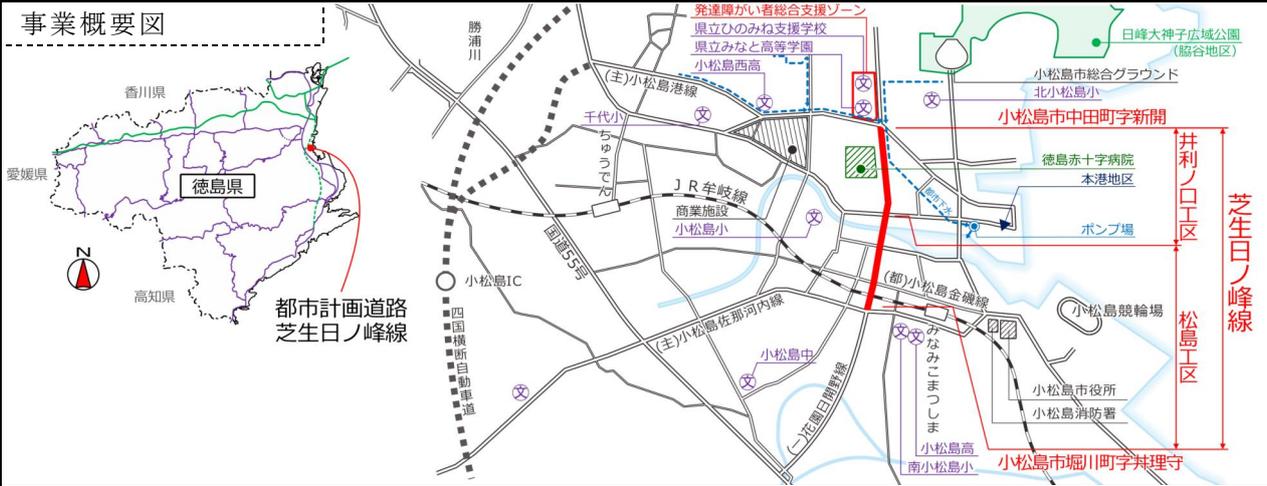
事業概要

都市計画道路芝生日ノ峰線は、一般国道55号と徳島赤十字病院（第三次救急医療機関）や重要港湾徳島小松島港を結ぶアクセス道路であるとともに、小松島市中心市街地を南北に貫き、市街地の骨格を形成する重要路線である。
本事業は延長約0.9kmにおいて現道拡幅するものであり、現・徳島赤十字病院付近における土地区画整理事業等との連携を図り、街路を整備するものである。

事業の目的・必要性

周辺地域における自動車交通の円滑化はもとより、自歩道を整備することにより自転車や歩行者の安全性・利便性の向上を図るものであり、加えて、小松島市総合計画に基づくまちづくりへも寄与する。

事業概要図



事業を巡る社会情勢の変化

- ・ H14～H17 現・徳島赤十字病院付近において、土地区画整理事業および市街地再開発事業を実施。
- ・ H18.5 本事業区間沿線に徳島赤十字病院が開業。
- ・ H20.3 本事業区間に接続する一般県道花園日開野線が供用開始。
- ・ H23.3 本事業区間に接続する都市計画道路小松島金磯線が供用開始。

事業効果

- ・ 本路線は、徳島県地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけられており、第三次救急医療機関である徳島赤十字病院や、生活物資等の輸送拠点となる徳島小松島港、また現在改修中の日峯大神子広域公園（脇谷地区）等へのアクセス強化に寄与する。
- ・ 自歩道の整備や電線類の地中化により、道路利用者の安全性・利便性の向上が図られる。
- ・ 徳島赤十字病院をはじめとする医療・福祉の充実したまちづくりに寄与する。
- ・ 旧・徳島赤十字病院跡地を活用した全国に例の無い「発達障がい者総合支援ゾーン」の整備に寄与する。
- ・ 本事業に付随する都市下水路については、小松島市所管のポンプ場整備とも連携し、当該地区の内水対策に寄与する。
- ・ 本事業において歩道部に整備した街路樹については、清掃など地元ボランティアの協力もあり、地元住民の憩いの場としても活用されている。

事業期間	事業年度	H9年度	用地着手	H10年度	工事着手	H11年度	前回比	1.12
	供用年	(前回評価時) H26		(今回) H28				
事業費	前回評価時	50.3億円		実績	52.2億円		前回比	1.04
交通量	前回評価時	4,700台/日		今回	5,400台/日		前回比	1.15
費用対効果分析結果(前回評価時)	B/C	1.10		総費用	65.3		基準年	平成23年
				事業費：58.8億円 維持管理費：0.3億円	走行時間短縮便益：52.2億円 走行経費減少便益：10.5億円 交通事故減少便益：2.6億円			
費用対効果分析結果(今回)	B/C	1.08		総費用	80.0		基準年	平成28年
				事業費：73.9億円 維持管理費：0.3億円	走行時間短縮便益：66.0億円 走行経費減少便益：7.6億円 交通事故減少便益：6.4億円			
課題と今後の事業への反映	本事業では、引き続き当該地域への居住を希望する各地権者の意向に添えるよう、土地区画整理事業や市街地再開発事業と連携して代替地確保を行った結果、円滑な用地取得交渉が可能となった。今後も、関連する事業との連携により事業の進捗を図るとともに、相乗的なストック効果の発現に努める。							

※ 総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。